

岡山-UM-2011-08-09

UH88日本時間 共同利用報告

(プログラム小委員会報告2011)

泉浦秀行
(岡山天体物理観測所)

◇ハワイ、マウナケアの望遠鏡時間

University of Hawaii, 88-inch (2.2m) telescope (UH88)

- ・観測夜を国立天文台のお金で買い、日本人研究者に分配
- ・当初は観測装置の持ち込み試験が主な用途
- ・2008年度からハワイ観測所が業務を担当
- ・2008年度から研究費による観測時間の買取り開始
UH: 50万/夜、UKIRT: 200万/夜→値下がりした
- ・Peer review制を取らず、プログラム小委員会が評価と
時間割り当ての両方を担当してきた
- ・2008－2010年度の3年間、天文台が予算を保証
2500万、2300万、2100万（その後は保証しない）

◇2008年からの委員

- ・2008Bから2011Aまでの審査(但し2011年3月まで)
- ・委員: 泉浦秀行(委員長)、伊藤洋一、長尾透、
本原顕太郎、小林尚人(2009A審査から)
- ・UH88/UKIRT側折衝窓口: 寺田宏
- ・世話人: 竹田洋一(ハワイ観測所 ex officio)
- ・事務処理: 吉田千枝
- ・顧問: 田村元秀、今西昌俊

一> 2010年度で一旦終了し、プログラム小委員会も解散した。

◇2011年以降について（ 2010年度岡山UMでのこと ）

- * UH88はまだあと3年くらい望遠鏡時間を買うことができる
- * UKIRTはもう望遠鏡時間を買うことができない
- * 国立天文台に予算配分と事務負担の要望を出すことは可能
- * 2011年以降は研究者がどれくらい強く要望するかに依存
- * 受益者が団結して自ら行動を起こす必要がある
- * これまでに5人の研究者から、継続を強く希望する旨の意見が寄せられている。

一> 光赤天連から国立天文台への働きかけでH23年に2100万円の予算措置がなされた。

◇委員会開催

第一回 2008B (Aug-Jan) 審査

2008年5月9日 @ 国立天文台三鷹

第二回 2009A (Feb-Jul) 審査

2008年10月15日 @ TV会議

第三回 2009B (Aug-Jan) 審査

2009年4月14日 @ TV会議

第四回 2010A (Feb-Jul) 審査

2009年10月20日 @ TV会議

第五回 2010B (Aug-Jan) + 2011A (Feb-Mar) 審査

2010年4月19日 @ TV会議

まさかの第六回 2011B (Aug-Jan) + 2012A (Feb-Mar) 審査

2011年5月24日 @ TV会議、プロ小委員再招集

◇申込と割付の状況

適正2倍

UH88	応募 件数	応募 夜数	割当 夜数	競争率 (夜数)
S05B	16	49	19	2.6
S06A	11	34	10	3.4
S06B	13	40	14	2.9
S07A	7	13.5	7	1.9
S07B	6	16	5	3.2
S08A	3	11	7+2	1.6/1.2
S08B	8	24.5	12+6	2.0/1.4
S09A	2	7	5	1.4
S09B	8	23	10+5	2.3/1.5
S10A	6	23	10	2.3
S10B	8	26	20	1.3

(赤字は観測者資金による買取分、
並びにそれを含めた競争倍率)

適正3倍

UKIRT	応募 件数	応募 夜数	割当 夜数	競争率 (夜数)
S05B	5	11	4	2.8
S06A	9	21	6	3.5
S06B	10	20	5	4.0
S07A	7	16	2.5	6.4
S07B	8	16	3	5.3
S08A	3	10	2	5.0
S08B	10	22.5	6	3.8
S09A	2	6	3	2.0
S09B	3	8	4	2.0
S10A	5	14	8.5	1.6
S10B	2	7	5	1.4

S11B 8 18.5 15(11, 4) 1.2

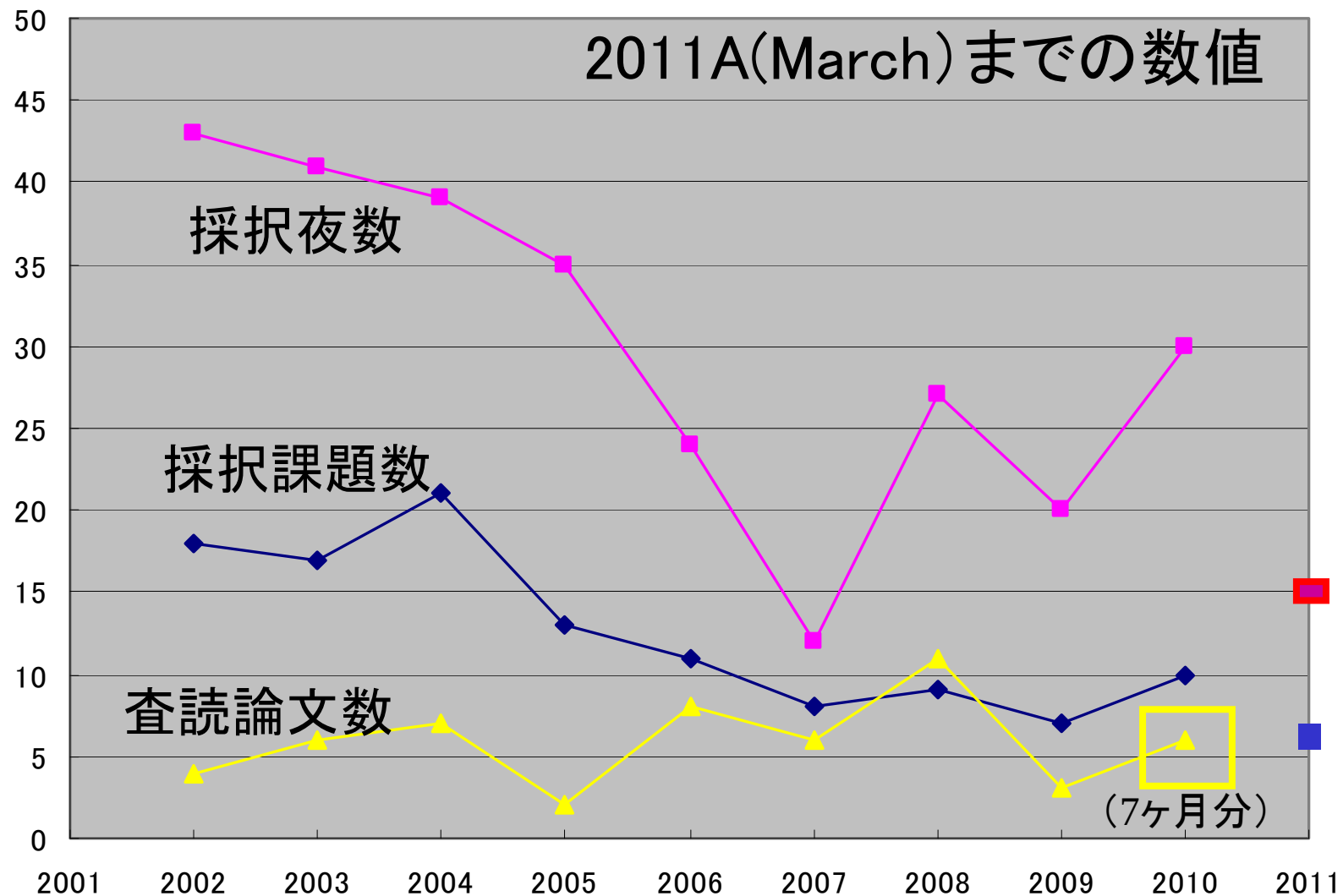
(UHから夜数の上限15夜が設定された)

UH88 日本時間観測

◆ 採択課題数
▲ 査読論文数

■ 採択夜数

◇観測採択状況と成果出版状況 (UH88)



岡山188cm鏡の共同利用では、
夜数ベース倍率で約2倍、
で推移している。

一方、UH88日本時間ではここ数年、
夜数ベース倍率で1.5倍
をほぼ常に下回ってきた。